



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 広島電鉄株式会社

コード番号 9033 URL <http://www.hiroden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棕田 昌夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 M・Sカンパニープレジデント (氏名) 倉本 勇治

TEL 082-242-3542

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	20,085	0.5	789	29.6	668	28.7	742	30.1
25年3月期第2四半期	19,987	10.7	1,121	3.0	937	9.2	570	39.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 785百万円 (180.4%) 25年3月期第2四半期 280百万円 (70.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	12.24	
25年3月期第2四半期	9.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	90,854	34,757	37.4
25年3月期	92,048	34,199	36.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 34,015百万円 25年3月期 33,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期		0.00		3.50	3.50
26年3月期		0.00			
26年3月期(予想)				3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	39,940	4.0	680	52.7	390	65.0	1,320	4.8	21.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	60,891,000 株	25年3月期	60,891,000 株
26年3月期2Q	229,436 株	25年3月期	228,603 株
26年3月期2Q	60,662,131 株	25年3月期2Q	60,663,265 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. (参考) 四半期個別財務諸表	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策と日銀の金融緩和による円安・株高の定着を背景に、輸出の持ち直しに加えて企業の業績回復が進み、大企業製造業を中心に幅広い業種で景況感が上向きました。一方で、この景気回復基調を受けて、政府は平成26年4月の消費税引き上げを決定しましたが、増税前の駆け込み需要は期待できるものの、増税後の反動による景気の腰折れが懸念されております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、広島市が事業主体である電車の広島駅前通り線の整備や、広島県と廿日市市が事業主体である宮島口整備事業といった事業を関係機関と協力しながら推進してまいります。また、平成24年7月に着工し、現在まで順調に工事が進捗している大規模不動産開発プロジェクト「石内東地区開発事業」についても、引き続き安全かつ堅実に施工されるよう、工程管理を行ってまいります。

これらの将来計画を念頭に置きつつ、旅客輸送における一層の安全確保や、顧客へのサービス向上を図り、各事業とも積極的な営業活動を展開することで収益の確保に努めました。

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、運輸業、流通業およびレジャー・サービス業で減収となったものの、不動産業および建設業での増収により、前第2四半期連結累計期間と比較して0.5%、98百万円増加し、20,085百万円となりました。利益につきましては、主に運輸業において、人件費や燃料費の増加に加え、輸送の安全確保のための設備投資や修繕費が増加したことにより、営業利益は、前第2四半期連結累計期間と比較して29.6%、332百万円減少し、789百万円となり、経常利益は、前第2四半期連結累計期間と比較して28.7%、269百万円減少し、668百万円となりました。四半期純利益は、見積実効税率の下落に伴い法人税等が減少したため、前第2四半期連結累計期間と比較して、30.1%、171百万円増加し、742百万円となりました。

各セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① (運輸業)

運輸業におきましては、鉄軌道事業では、平成25年4月から5月にかけて開催された「ひろしま菓子博2013」が寄与し、増収となりました。自動車事業では、平成25年4月1日から中国横断自動車道・尾道松江線へ運行ルートを変更した高速バス広島松江線が順調に推移したものの、そごう呉店閉店による呉市内中心部の利用減などにより、減収となりました。海上運送業では、大河ドラマ「平清盛」の放映終了による団体客の減少により、減収となりました。索道業では、「平清盛」放映終了による減収が懸念されましたが、「広島県デスティネーションキャンペーン」が寄与し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前第2四半期連結累計期間と比較して0.0%、3百万円減少し、11,039百万円となり、人件費や燃料費、修繕費の増加により営業利益は、前第2四半期連結累計期間586百万円に対し、62.4%、365百万円減少し、220百万円となりました。

② (流通業)

流通業におきましては、平成25年7月にマダムジョイ牛田店を開店、平成25年8月に路線バスを改造した移動販売を開始し増収を図りましたが、平成25年2月末のマダムジョイアルパーク店閉店による売上の減少のほか、競合他店との競争激化による影響もあり、大幅な減収となりました。

また、宮島口もみじ本陣においても、大河ドラマ「平清盛」の放映終了による団体ツアー客の減少により減収となりましたが、サービスエリアにおいては、商品等の充実を図るなどし、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前第2四半期連結累計期間と比較して7.7%、487百万円減少し、5,840百万円となり、営業利益は、前第2四半期連結累計期間130百万円に対し、50.0%、65百万円減少し、65百万円となりました。

③ (不動産業)

不動産業におきましては、不動産賃貸業では、平成24年2月に竣工した「広島トランヴェールビルディング」が平成24年11月に全テナントの入居が完了したことや、平成24年11月に国泰寺賃貸ビルを購入したことなどにより、増収となりました。また、不動産販売業でも、既存団地の販売促進により、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前第2四半期連結累計期間と比較して20.4%、272百万円増加し、1,608百万円となり、営業利益は、前第2四半期連結累計期間279百万円に対し、36.4%、101百万円増加し、380百万円となりました。

④ (建設業)

建設業におきましては、耐震工事等の公共工事の受注増により、大幅な増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前第2四半期連結累計期間と比較して42.8%、592百万円増加し、1,976百万円となり、営業利益は、前第2四半期連結累計期間25百万円に対し、206.3%、52百万円増加し、78百万円となりました。

⑤ (レジャー・サービス業)

レジャー・サービス業におきましては、ホテル業では、平成25年4月から5月にかけて開催された「ひろしま菓子博2013」、7月から9月の「広島県デスティネーションキャンペーン」が寄与し、宿泊部門は増収となりましたが、平成25年3月末にグリーンバズゴルフ倶楽部内レストランを撤退した影響により、減収となりました。

ゴルフ業では、来場者の減少と価格競争の激化により、減収となりました。

ボウリング業では、「健康ボウリング教室」の精力的な開催により固定客が増加し、増収となりました。ゴルフ練習場においては、シニア層の来客の減少により、減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前第2四半期連結累計期間と比較して3.5%、34百万円減少し、951百万円となり、営業利益は、前第2四半期連結累計期間92百万円に対し、50.0%、46百万円減少し、46百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は、「現金及び預金」の減少676百万円、主として減価償却による有形・無形固定資産の減少518百万円等により、前連結会計年度末と比較して1,193百万円の減少となりました。負債は、前連結会計年度に行った設備投資に係る支払いや、販売用マンションの建築代金の支払いによる「未払金」の減少1,809百万円等により、前連結会計年度末と比較して1,751百万円の減少となりました。純資産は、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比較して557百万円の増加となり、自己資本比率は1.0ポイント上昇の37.4%となりました。

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、土地建物の販売代金の前受入金の減少や販売用マンションの建築代金の支払いにより、前第2四半期連結累計期間4,036百万円の資金収入に対して、585百万円の資金支出となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、設備投資に係る支出が減少し、前第2四半期連結累計期間と比較して2,860百万円少ない911百万円の資金支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金等の調達額の減少により、前第2四半期連結累計期間と比較して1,171百万円少ない809百万円の資金収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して、687百万円減少の4,812百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績の見通しにつきましては、当第2四半期連結累計期間までは、概ね当初の予想どおりの業績で推移いたしました。第3四半期以降、流通業において、競合店との競争激化による売上高の減少が予想され、鉄軌道事業、不動産賃貸事業の修繕費等の経費が増加する予定であり、また、有利子負債の増加による支払利息の増加が予想されます。

このような状況を踏まえ、平成25年5月14日に公表しました業績予想を変更し、現時点での通期の業績は下記の通りと予想しております。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり3円50銭を予定しております。

通期業績予想

(単位：百万円、百万円未満切捨表示)

区分	連結		個別	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
営業収益	39,940	△ 4.0 %	20,420	△ 2.1 %
営業利益	680	△ 52.7 %	650	△ 42.9 %
経常利益	390	△ 65.0 %	430	△ 56.3 %
当期純利益	1,320	△ 4.8 %	970	3.2 %

セグメント別業績予想

通期

(単位：百万円、百万円未満切捨表示)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額	連結損益計算書
営業収益	21,477	11,843	3,428	4,055	1,828	42,633	△2,693	39,940
営業費用	22,014	11,712	2,537	3,948	1,742	41,955	△2,695	39,260
営業利益	△536	130	890	106	86	678	1	680

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

当社は、当社の100%子会社である広電不動産株式会社を平成25年4月1日付で吸収合併いたしました。なお、広電不動産株式会社は前連結会計年度において特定子会社には該当していません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,229	5,553
受取手形及び売掛金	1,621	1,689
販売土地及び建物	8,631	8,482
未成工事支出金	213	495
商品及び製品	144	166
原材料及び貯蔵品	391	454
その他	1,934	1,971
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	19,159	18,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,914	17,482
機械装置及び運搬具（純額）	4,540	4,488
土地	42,971	42,950
建設仮勘定	3	14
その他（純額）	976	981
有形固定資産合計	66,406	65,916
無形固定資産		
借地権	45	45
その他	198	170
無形固定資産合計	244	216
投資その他の資産		
投資有価証券	3,935	3,816
長期貸付金	14	14
その他	2,397	2,192
貸倒引当金	△108	△106
投資その他の資産合計	6,238	5,917
固定資産合計	72,889	72,050
資産合計	92,048	90,854

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,382	1,356
短期借入金	12,840	13,622
1年内償還予定の社債	479	514
未払金	3,177	1,368
未払法人税等	885	280
未払消費税等	371	235
未払費用	816	770
預り金	1,244	1,319
賞与引当金	1,050	1,097
役員賞与引当金	19	—
その他	3,219	3,205
流動負債合計	25,487	23,771
固定負債		
社債	934	899
長期借入金	12,085	12,441
再評価に係る繰延税金負債	11,684	11,677
退職給付引当金	1,632	1,526
役員退職慰労引当金	59	—
その他	5,964	5,780
固定負債合計	32,360	32,325
負債合計	57,848	56,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,335	2,335
資本剰余金	1,972	1,972
利益剰余金	7,150	7,693
自己株式	△90	△91
株主資本合計	11,368	11,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,079	1,086
土地再評価差額金	21,031	21,018
その他の包括利益累計額合計	22,111	22,104
少数株主持分	720	742
純資産合計	34,199	34,757
負債純資産合計	92,048	90,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益	19,987	20,085
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	15,095	15,260
販売費及び一般管理費	3,769	4,035
営業費合計	18,865	19,295
営業利益	1,121	789
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	45	52
持分法による投資利益	7	—
受託工事収入	0	179
その他	66	40
営業外収益合計	120	273
営業外費用		
支払利息	208	179
持分法による投資損失	—	6
受託工事費用	0	179
その他	95	29
営業外費用合計	304	394
経常利益	937	668
特別利益		
固定資産売却益	41	0
工事負担金等受入額	277	393
その他	10	47
特別利益合計	328	441
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	1
固定資産圧縮損	66	111
減損損失	15	21
投資有価証券評価損	82	—
特別損失合計	166	134
税金等調整前四半期純利益	1,099	975
法人税等	491	196
少数株主損益調整前四半期純利益	607	779
少数株主利益	37	36
四半期純利益	570	742

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	607	779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△326	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△327	6
四半期包括利益	280	785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242	748
少数株主に係る四半期包括利益	37	36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,099	975
減価償却費	1,344	1,395
減損損失	15	21
販売用不動産評価損	68	40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27	△37
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△219	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	118	46
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△27	△19
受取利息及び受取配当金	△46	△53
支払利息	208	179
投資有価証券評価損益(△は益)	82	—
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△12	8
固定資産圧縮損	66	111
売上債権の増減額(△は増加)	122	△68
たな卸資産の増減額(△は増加)	△419	△258
仕入債務の増減額(△は減少)	△182	△26
その他の固定負債の増減額(△は減少)	68	△148
工事負担金等受入額	△277	△393
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,840	△607
その他	△53	△706
小計	4,768	398
利息及び配当金の受取額	47	57
利息の支払額	△208	△182
法人税等の支払額	△572	△858
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,036	△585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	16	100
投資有価証券の取得による支出	△31	△0
有形固定資産の取得による支出	△4,701	△2,278
工事負担金等受入による収入	1,065	1,172
定期預金の預入による支出	△708	△746
定期預金の払戻による収入	505	736
差入保証金の回収による収入	—	76
その他	81	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,772	△911

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△463	1,204
長期借入れによる収入	5,488	2,416
長期借入金の返済による支出	△2,516	△2,482
社債の発行による収入	98	148
社債の償還による支出	△335	△149
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△212	△212
少数株主への配当金の支払額	△6	△8
その他	△70	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,981	809
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,245	△687
現金及び現金同等物の期首残高	4,649	5,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,895	4,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	11,038	5,713	1,082	1,169	982	19,987	—	19,987
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4	614	253	214	4	1,090	△1,090	—
計	11,043	6,328	1,335	1,383	986	21,077	△1,090	19,987
セグメント利益	586	130	279	25	92	1,114	7	1,121

(注) 1 セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

区分	運輸業	流通業	不動産業	建設業	レジャー・サービス業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
営業収益								
外部顧客への営業収益	11,033	5,173	1,356	1,576	945	20,085	—	20,085
セグメント間の内部営業収益又は振替高	5	667	252	399	6	1,330	△1,330	—
計	11,039	5,840	1,608	1,976	951	21,416	△1,330	20,085
セグメント利益	220	65	380	78	46	791	△2	789

(注) 1 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものがないため記載しておりません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表

(1) 四半期損益計算書(個別)

第2四半期累計期間

区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	金額(百万円)		金額(百万円)	
I 鉄軌道事業				
営業収益	3,176		3,243	
営業費	2,926		3,150	
営業利益		250		92
II 自動車事業				
営業収益	5,553		5,507	
営業費	5,224		5,347	
営業利益		328		160
III 不動産事業				
営業収益	1,049		1,562	
営業費	822		1,216	
営業利益		226		346
IV 全事業				
営業収益	9,778		10,313	
営業費	8,973		9,714	
営業利益		805		599
V 営業外収益				
受取利息	2		3	
受取配当金	75		86	
受託工事収入	0		179	
その他	44	122	27	296
VI 営業外費用				
支払利息	142		126	
社債発行費	1		1	
受託工事費用	0		179	
その他	39	183	91	399
経常利益		745		496
VII 特別利益				
固定資産売却益	41		—	
工事負担金等受入額	255		379	
抱合せ株式消滅差益	—	296	105	484
VIII 特別損失				
固定資産圧縮損	62		111	
減損損失	1		21	
投資有価証券評価損	82	146	—	132
税引前四半期純利益		895		848
法人税等		361		109
四半期純利益		533		739

(注) 1 開示した四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビュー対象外であります。

2 四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しております。

(2) 部門別収入

(単位:百万円、百万円未満切捨表示)

区分	前々第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)			前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		
	金額	対前年 比較	対前年比	金額	対前年 比較	対前年比	金額	対前年 比較	対前年比
鉄軌道事業									
鉄道事業									
定期	163	△ 2	98.5%	162	△ 1	99.2%	161	△ 0	99.5%
定期外	704	20	103.1%	706	1	100.2%	706	0	100.1%
小計	868	18	102.2%	868	0	100.0%	868	△ 0	100.0%
軌道事業									
定期	261	△ 3	98.5%	264	2	101.1%	270	6	102.3%
定期外	1,816	21	101.2%	1,834	18	101.0%	1,884	50	102.7%
小計	2,077	17	100.8%	2,098	21	101.0%	2,155	56	102.7%
鉄軌道事業計	2,946	35	101.2%	2,967	21	100.7%	3,023	55	101.9%
自動車事業									
都市圏乗合									
定期	185	△ 4	97.8%	188	2	101.2%	188	△ 0	99.9%
定期外	1,216	25	102.2%	1,198	△ 17	98.6%	1,206	7	100.6%
小計	1,402	21	101.5%	1,387	△ 15	98.9%	1,394	6	100.5%
地域乗合									
定期	489	△ 12	97.5%	496	6	101.3%	512	16	103.3%
定期外	2,119	20	101.0%	2,190	71	103.4%	2,072	△ 118	94.6%
小計	2,609	8	100.3%	2,687	78	103.0%	2,585	△ 102	96.2%
呉乗合									
定期	—	—	—	309	309	—	272	△ 37	88.0%
定期外	—	—	—	796	796	—	771	△ 24	96.9%
小計	—	—	—	1,106	1,106	—	1,044	△ 62	94.4%
高速	30	0	100.1%	29	△ 0	97.9%	170	140	570.5%
貸切	58	△ 2	95.9%	94	36	161.9%	103	8	108.6%
自動車事業計	4,100	27	100.7%	5,305	1,204	129.4%	5,297	△ 8	99.8%

(3) 部門別乗車人員

(単位:千人、千人未満切捨表示)

区分	前々第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)			前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)			当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		
	人員数	対前年 比較	対前年比	人員数	対前年 比較	対前年比	人員数	対前年 比較	対前年比
鉄軌道事業									
鉄道事業									
定期	2,643	△ 38	98.6%	2,616	△ 27	99.0%	2,595	△ 20	99.2%
定期外	6,210	187	103.1%	6,234	23	100.4%	6,246	12	100.2%
小計	8,854	149	101.7%	8,850	△ 4	100.0%	8,842	△ 7	99.9%
軌道事業									
定期	3,799	△ 51	98.7%	3,821	21	100.6%	3,898	77	102.0%
定期外	15,448	296	102.0%	15,615	166	101.1%	16,017	401	102.6%
小計	19,248	245	101.3%	19,437	188	101.0%	19,916	479	102.5%
鉄軌道事業計	28,102	395	101.4%	28,287	184	100.7%	28,758	471	101.7%
自動車事業									
都市圏乗合									
定期	1,583	△ 41	97.4%	1,592	8	100.5%	1,591	△ 0	100.0%
定期外	6,719	36	100.5%	6,647	△ 71	98.9%	6,699	51	100.8%
小計	8,303	△ 5	99.9%	8,240	△ 63	99.2%	8,291	51	100.6%
地域乗合									
定期	2,605	△ 59	97.8%	2,625	20	100.8%	2,697	72	102.7%
定期外	6,388	△ 37	99.4%	6,505	116	101.8%	6,475	△ 29	99.5%
小計	8,994	△ 96	98.9%	9,130	136	101.5%	9,173	42	100.5%
呉乗合									
定期	—	—	—	2,351	2,351	—	2,051	△ 299	87.2%
定期外	—	—	—	3,922	3,922	—	3,778	△ 143	96.3%
小計	—	—	—	6,273	6,273	—	5,829	△ 443	92.9%
高速	9	△ 0	100.0%	9	△ 0	98.1%	51	42	557.2%
貸切	687	△ 52	92.9%	880	192	128.0%	873	△ 6	99.3%
自動車事業計	17,994	△ 155	99.1%	24,533	6,539	136.3%	24,219	△ 314	98.7%